

# 感動・創庫



28号 平成22年4月発行

発行：感動・創庫

〒259-1211

平塚市ふじみ野2-14-6-101

TEL/FAX: 0463-67-1896

mail: info@kando-soko.com

http://kando-soko.com

発行編集責任者：芦川永光

GW直前、のんびりな休みを目指して只今フル回転中、芦川永光です。新年度になると注目すべきニュースがたくさんありますね。私が一番気になっているのは、高速道路料金が平日・休日関係なく、上限2千円になるというお話。今の仕事では、休みが土・日に固定できませんから、

平日に安くなったらどれ程良いか、と願っていた所でした。大型連休の時にガッツリ渋滞していた道路も、これで車が減って走りやすくなりますね。私は根っからのせっかちで、空いてる道路なら一万円払ってでも走りたいと思っていますので、心の底からガッツポーズ×3 (Yes! Yes! Yes!)です。現金払いのバイクでも全然OKなのが、ホント私好みでございます♪ 一つの仕組みが変わることをよ

く思わない人もいれば、大歓迎する人もいます。千円の高料金制度が出来て、大半の人(特にファミリー層にとっては遠方へ出かけるきっかけになりましたが、運搬業者さんなどは土・日の業務に支障が出るようになりました。商売においても似たことがしばしば起こりますよね。何か一つのルールが変わることを、深刻に捉える人もいれば、それを逆手に取って同業者に差をつける人

でも私、逆らえない変化は深刻に捉えずに「なるようになるさ」と前向きに向かった方が、絶対良いんじゃないかって思うんです。例えば、昨年の薬事法改正時に恐々としていた薬店さんなんかは、今では何事もなかったような雰囲気ですからね。2000年問題(覚えてますかね?)の時も、世界が終わる！くらいに心配をしていた人がたくさんいましたけど、結局何にも起こりませんでしたよね。

ちよつとだけ見せびらかし～



急欲だった一眼レフカメラを購入して、カメラにハマっています。



PENTAXのK-Xです。100種類以上選べる色の中で、パンタっほい「白」にしました！片時も離さず使っています!!



真剣です!

こんな感じにとってもキレイに撮れますよ。



## またまたマラソン大会です！



↑大学時代の友人と一緒に栃木県の「おやま思川ざくらマラソン」に参加しました。



川沿いの道は、菜の花のじゅうたんです。温かい日で気持ち良かったです。



春先が忙しすぎて、ほとんど練習をせずに出場。余裕に見えるのは、「カメラ用の顔」だからです。

つかれたあ～！



体重も増えたこともあって、今までで一番キビシイ大会でした。



走り終えてすぐ昼食。満場一致で「麺類」に決定！ということで、うどん屋さんで全員、釜玉うどんを注文。醤油はいつもより多めに！

## 身の回りの「ちよっと変化」に目を向けましょう！

法律の改正、インフラの整備などの大きな変化よりも、もっとちよっとな変化の方が商売においては深刻に思えるんです。それは「お客様の心の変化」です。クライアントさんのコンサルティングを通じて日々感じているのは、どの業界もお客様の要求がどんどん高くなってのなあっていうことです。良いモノがあふれて、どこでもすぐに買えち

やう時代ですから、よく考えればお客様は選び放題なんですよね。もっと上、もっと良いモノ！となるのも無理はないわけです。私が実感しているところでは、正直申し上げて2000年代に反響が出たチラシでも、2010年の今では反響も落ちると感じています。安売り・カラー写真だけのイメージ広告はもちろん、顔写真・手書き・クレヨンなど手作り風にアレンジしても、もう1つ2つ工夫が無いと集客が厳しくなってきました。

目に向けてみるんですね。私がチラシ作りをする際、最も重要な情報になるのはそう、皆さんのお店を取り巻く「お客様の心」なんです。かなり勘違いをされるのですが、広告宣伝のプロというのは皆さんの業界を知り尽くしているのがプロ、ではないんです。お店のウリとお客様の特性をヒアリングで引き出せるのが、広告宣伝のプロなんです。あなた以上にあなたのお店を知る人間はいない訳ですから、当たり前のことなんですけどね。

と見たときは、お客様の方へ一度目を向けてみてください。意外と簡単だけに重要なことに気づくって、結構ありますよ。ちなみに私が自分のお客様を見て感じるのは、ニューズレターを重要視している方の増加です。広告業界も集客だけやっていけばOKの時代だったんで、今はどこを見ても大変そうです。感動・創庫、そしていせはらポストもお客様のご要望にあわせて、少しずつ変化していきます。いつの時代でも売上向上に最適な方法をご提案していけるよう、もっと皆さんと深く関わっていきたいと思います。



# 涼子の広告デザインの指南 <sup>プチ</sup>①

## Ryoko's Design works

こんにちは、涼子です。今月から、デザインのお話をする私のコーナーができました！少しずつ、分かりやすく、デザインのお話をしていこうと思っていますので、よろしくお願いします！！

今回は第一回なので、『デザインって一体なに？』って所からお話しようと思います。

### デザインには いろんな種類があるんです



『デザイン』にはさまざまな種類があって、それぞれに専門のデザイナーさんがいます。洋服やヘアスタイルなどのファッションや、車からお茶碗など工業製品、家などの建造物、チラシや本などの印刷物、さらには都市や人生計画なんてものまで、『デザイン』って言われています。

ちなみに私の仕事は分類されると、グラフィックデザインに属します。この言葉、聞いたことありますか？なんだかカッコいい名前が付いていますが、実際、何をデザインするのかと聞かれると、「平面のモノ」と私は答えます。ポスター、チラシ、リーフレット、ロゴマーク、など平面のデザインのことを『グラフィックデザイン』と言うんです。感動・創庫は、広告や販促ツールを制作していますので、まさにそれです。

### デザインってなに？



話がちょっと脱線してしまいました。「デザインって何？」に戻りますね。『デザイン』と聞くと、芸術・美術的イメージが強く感じられますよね。でも、デザインを日本語訳すると「設計」という言葉なんです。「あるコトやモノをより良いカタチにするために計画する」という意味なんです。ちょっと分かりづらいので、もう少し分かりやすく説明し

ますね。

建築デザインだったら、そこに住む人が快適にすごせるように、より良いカタチに計画すること。洗濯機だったら、お母さんが毎日使いやすいようにより良いカタチに計画すること。お茶碗だったら、持ちやすく毎日使う人が美味しくゴハンを食べれるようなカタチを計画することです。

そう考えながら、周りにあるモノを見てみてください。どんなモノでも「デザインされていないモノは無い！」ってくらい、モノの作り手は使う人のことを考えて、良いカタチにしているんです。

### デザインって カッコ良くない！？



私の仕事も同じことが言えます。私がデザインする仕事は「伝えたい人へ、伝えやすいカタチにすること」です。たとえば、チラシのデザインだったら「お客様へ、お店の情報を伝えやすいカタチにすること」となります。だんだん『デザイン』のこと、分かってきましたか？

よく私たち感動・創庫へ「手持ちのチラシをもっとカッコ良くデザインして欲しい」という依頼がやってきます。このとき私たちは「お客様へより良く伝えられるようなデザインをします」と言って、「カッコいい＝デザイン」でないことを理解して頂けるまでお話しします。分かりやすく、見やすいデザインは、結果的にカッコ良く洗練されたモノが多くなるのが事実です。ですから、それが単純に「デザイン＝カッコいい」と思われがちなんです。

皆さんもデザインをしたり、デザインの依頼をしたりすることがあると思います。その時は、伝えたいことをより良く伝えられているかを熟慮してデザインしてみてくださいね。

心に響く感動の格言

# どんな馬鹿げた考えでも行動を起さないと世界は変わらない

アメリカ合衆国のジャーナリスト、ドキュメンタリー映画監督、テレビプロデューサー、テレビディレクター、政治活動家と数々の肩書きを持つ人物、マイケル・ムーアの言葉です。ご存じない方は「赤いキャップを被った、ヒゲ面でふとっちょの映画監督」を思い出してください。若かりし頃のベトナム戦争反対から始まって、最近の社会批判、大統領批判まで。人が非常識、反米思想者とまで思うようなことを表現していくそのチャレンジスピリットは、この言葉通り、世界をホンキで変えようとする彼の姿勢そのものです。

## 編集後記

久々、芦川の編集後記です。

電車で横浜に向かっている途中、携帯に知らない番号が表示されました(誰?)。「芦川さん、久しぶり〜!」ちょっと前に電話帳のメモリーを全部消してしまったので、「すみません、どちらさまで...」(そりゃそうです)以前、勤めていた会社の後輩からの連絡でしたが、冷たい対応をしてしまいました(笑)。

息も絶え絶え約2時間、振り回され続けました(大汗)。でも、外国の人ってみんな陽気で、足を引っ張りっぱなしの私にも「大丈夫よ、良いことあるよ」と心からサッカーを楽しんでるんです。「グラスアス!」「チャオ!」最後は笑顔で挨拶&握手でした。

約4年ぶりの電話で、用事というのが「サッカーをやるんだけど、メンバーが足りない」というものでした。久しぶりな上に、いつも面白い用事を言ってくる男なので「イイよ!」と即答しました。実は野球少年なので、サッカーは観るのが好きなので、全然出来ないんですけどね。

ところで、後輩はこういう人たちと何処で知り合ったんだろ?後で聞いたら、異国の方々がたくさん集まる所(お店やイベント)に一人でフワフワと行くんですって(度胸ありますよね)。相変わらず不思議なヤツでした。とにかく面白い交遊録でした。

そして当日。フットワールドカップ?と言えるような、国際色豊かなサッカーが行われました。後で聞いたらアルゼンチンとポリアの方々だったそうです。とにかく半端なく上手い!当然素人の私は足がもつれる程に、

ここにいます!

